

第49回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会開催ご案内

総会開催にあたって

会長 磯貝 恵美子
(東北大学大学院農学研究科動物微生物学分野)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2016年（平成28年）1月29日（金）、30日（土）の両日、仙台におきまして、第49回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会は、1968年1月に初代会長の宮川正澄先生、藤原彰夫先生、佐々木正五先生らにより設立され、無菌生物学に関心を有する医歯薬学、動植物学、農学、工学など幅広い分野の研究者が一堂に会して、領域横断的に自由闊達なディスカッションを行うユニークな学会として発展を遂げて参りました。会員の皆様には奮ってご参加いただき、多くのご発表とご議論をいただけますようお願い申し上げます。

今回の総会では、「困難に立ち向かう」をテーマに掲げ、特別講演1題、2つのシンポジウム、一般演題より構成いたしました。学会会場はJR仙台駅より徒歩3分の「仙台ガーデンパレス」とし、利便性を図りました。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

会 期 2016年（平成28年）1月29日（金）・1月30日（土）

会 場 仙台ガーデンパレス

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-5

Tel : 022-299-6211（代） Fax : 022-299-6248

参 加 費 7,000円 学生1,000円

懇 親 会 費 3,000円

日 程 （一部変更の可能性あります）

会 場	1月29日（金）	1月30日（土）
コンベンション ル ーム（3F）	13:00- 開会の辞、総会 13:30-14:50 一般演題 15:00-16:30 シンポジウムⅠ 16:45-17:45 特別講演 17:50-18:00 記念写真撮影	9:00- 9:50 一般演題 10:00-11:30 シンポジウムⅡ 11:30-12:00 佐々木正五賞表彰 閉会の辞
蓬 菜（4F）	18:30-20:30 懇親会	

特 別 講 演 「ブラキスピラ感染症の基礎と臨床」

北里大学医学部 林 俊治

シンポジウムⅠ 「福島原発事故のその後、再生を目指して」

シンポジウムⅡ 「領域を超えた疾病制御へのチャレンジ」

一般演題申し込み

- a. 対象 本学会会員
(未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所へお申込ください)
- b. 締め切り日 2015年(平成27年)10月30日(金)
- c. 申し込み方法 テキスト形式で演題申込書を作成の上、e-mailに添付して、学会事務所 gnotobiolosaki@ks.kyorin-u.ac.jp にお送りください。
- d. 演題申込書 ①演題, ②発表者(演者の前に○をつけてください), ③所属, ④抄録, ⑤英文演題, ⑥英文発表者, ⑦英文所属, ⑧英文抄録, ⑨住所, ⑩電話番号, ⑪Fax番号, ⑫e-mailアドレスを明記してください。
①~⑧を「日程と抄録」B5版見ひらき2頁(和文と英文)に印刷します。

例)

①演題	本邦におけるヒト及び家畜から分離した <i>NetB</i> 毒素産生性 <i>Clostridium perfringens</i> の検出
②発表者	○和田薫子, 高橋志達, 岡健太郎, 田口晴彦*
③所属	ミヤリサン製薬株式会社, *杏林大学保健学部免疫学研究室
④抄録	(1200字以内) I. 目的(はじめに) 近年, 欧米を中心に <i>Clostridium perfringens</i> の新たな毒素として <i>NetB</i> の存在が…… II. 材料(対象)と方法 ブロイラーの糞便44検体, 産卵鶏の糞便51検体, ブタの糞便18検体…… III. 結果および考察 ブロイラー, 産卵鶏及びブタの便検体における <i>C. perfringens</i> の検出率は…… IV. 結論 <i>C. perfringens</i> は本邦においても……
⑤英文演題	Detection of <i>NetB</i> gene in <i>Clostridium perfringens</i> derived from livestock animals and clinical isolate of human in Japan
⑥英文発表者	KAORUKO WADA, MOTOMICHI TAKAHASHI, KENTARO OKA and HARUHIKO TAGUCHI*
⑦英文所属	Tokyo R&D center, Miyarisan Pharmaceutical Co., LTD, Tokyo *Department of Immunology, Faculty of Health Sciences, Kyorin University, Hachioji
⑧英文抄録(250 words 以内)	<i>NetB</i> produced by <i>Clostridium perfringens</i> was recently reported as a novel toxin and is suggested to be an essential virulence factor for necrotic enteritis, especially in the chicken.
⑨住所	〒114-0026 東京都……
⑩電話番号	03-3917-……
⑪Fax番号	03-3917-……
⑫e-mail	……@miyarisan.com

演題の採否は学会および総会事務局へご一任くださいますようお願い申し上げます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」に掲載する原稿をご提出いただきます。詳しくは申し込み後にご案内いたします。

連絡先

- a. 総会事務局 〒031-8501 八戸市大字妙字大開88-1
八戸工業大学工学部バイオ環境工学科 西村順子
Tel : 0178-25-8128 Fax : 0178-25-6825
e-mail : jnishimura@hi-tech.ac.jp
- b. 学会事務所 〒181-8611 三鷹市新川6-20-2
杏林大学医学部感染症学講座 大崎敬子
Tel : 0422-47-5511 内線 3464 Fax : 0422-44-7325
e-mail : gnotobiolosaki@ks.kyorin-u.ac.jp